

# 加茂市中小企業景況調査報告(平成25年7月～9月期)

回復傾向にあったDI平均値は、前期(4～6月期)の△15.2ポイントから5.6ポイント悪化し、△20.8ポイントとなった。建設業、製造業では若干の回復がみられたが、卸売業において業況DI値が43ポイント悪化するなど依然厳しい状態が続いている。

業種 項目		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
		7～9月	10～12月	7～9月	10～12月	7～9月	10～12月	7～9月	10～12月	7～9月	10～12月
		今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し
売上高		15 (△34) 	△39 (△50) 	△3 (△31) 	△8 (△23) 	0 (14) 	0 (0) 	△43 (△39) 	△40 (△21) 	△26 (△5) 	△26 (△11) 
採算		△46 (△50) 	△46 (△58) 	△20 (△29) 	△21 (△29) 	△22 (0) 	0 (△13) 	△46 (△44) 	△47 (△34) 	△37 (△16) 	△47 (△23) 
資金繰り		△25 (△25) 	△42 (△27) 	△6 (△10) 	△5 (△20) 	△20 (0) 	△20 (△25) 	△40 (△41) 	△37 (△39) 	△23 (△28) 	△28 (△22) 
業況		△23 (△33) 	△34 (△42) 	△7 (△33) 	△21 (△21) 	0 (43) 	△11 (0) 	△46 (△40) 	△39 (△40) 	△28 (△13) 	△35 (△7) 
経営上の 当面する 問題点	1位	請負単価の低下		需要の停滞		需要の停滞		購買力の他地域への流出		需要の停滞	
	2位	官公需要の停滞		製品(加工)単価の低下		仕入単価の上昇		消費者ニーズの変化への対応		利用者ニーズの変化への対応	
	3位	民間需要の停滞		原材料価格の上昇		販売単価の低下		大型店・中型店の進出による競争の激化		大企業の進出による競争の激化	
業種別 コメント		<p>前期に引き続き、消費税増税前の住宅関係の駆け込み需要等により、売上高DI値が49ポイント大幅に回復した。</p> <p>工事の発注数は多いが、請負単価の低下により、採算DI値はマイナス傾向であり、依然として厳しい経営を強いられている。</p> <p>消費税増税前の需要の先食いへの不安もあり来期見通しに関しては若干悪化傾向にある。</p>		<p>前期に引き続き、全項目とも若干ではあるが回復傾向にある。</p> <p>しかし、製品単価の低下や原材料価格の高騰が続くと見られ、先行きは不透明である。</p> <p>今後も積極的な営業活動と、海外とのコスト競争に巻き込まれない付加価値の高い受注の獲得が必要である。</p>		<p>関連業種の業況悪化の影響を受け、全項目とも悪化となった。</p> <p>来季の見通しについても仕入単価の上昇を販売価格へ転嫁することができず厳しい状態が続くと見られる。</p> <p>業界の動向を調査、分析することで情報力を強化し、提案型の営業を続けることが必要である。</p>		<p>購買力の他地域への流出は止まらず、全項目ともほぼ横ばい状態である。</p> <p>来期のお歳暮商戦にむけて、大型店には独自の品揃えやサービスにより、来店客の増加と客単価の改善を図る必要がある。</p>		<p>大手との競争激化によりDI値は全体的に悪化した。</p> <p>来期は忘年会シーズンを迎えるが大手企業との差別化が出来なければ厳しい状況が続くと見ている。</p> <p>お客のニーズの変化に対応した決めの細かいサービスの提供が必要である。</p>	



とくに好調  
(50 ≤ DI)

好調  
(25 ≤ DI < 50)

まあまあ  
(0 ≤ DI < 25)

不振  
(△25 ≤ DI < 0)

きわめて不振  
(DI < △25)

※当所では分析にあたってD・I(好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値)を採用しました。

※( )は前回調査時のD・I値